

中国における歴史的景観の保全について

曹 婷

1982年に第一回の「歴史文化名城」（歴史文化有名都市）が指定されてからの四十年間は、中国の改革開放と経済の高度成長期であった。歴史文化名城の保護政策を実施することによって、優れた伝統文化が都市の社会経済に巨大な発展をもたらした。経済の発展はあらゆる都市の建設も推し進めた。現在、中国の各都市の環境は整備され、住民の生活も都市の雰囲気も改善されてきた。そして、この期間には歴史文化名城の保全事業の内容も充実し、文化財、歴史的町並み、中国歴史名城の都市全体の保存計画という三つの方面からの保全形式が形成されてきた。歴史文化名城の制度は、新中国の長年にわたる開発重視の都市建設を反省し、都市の文化遺産や都市景観の保全を図ろうとしたものである。

本論文では、中国で歴史的景観を保全するために設けられた歴史文化名城指定都市である北京市、蘇州市、及び中国歴史文化名鎮に指定された同理鎮で行われている景観関連施策を概観し、その実態を把握し、中国の他の歴史的都市の歴史的景観の調査研究を進めていく際の参考としたい。

一 「中国歴史文化名城」「中国歴史文化名村・名鎮」の指定状況

21世紀に入ってから、中国の都市整備や経済発展は著しく進んでいる。同時に、中国の伝統文化や歴史的文化遗产の保護が絶えず注目を浴びている。1982年、1986年、1994年の合わせて三回、99都市の歴史文化名城が指定された後、2001年から2023年5月までそれぞれ43都市が「歴史文化名城」として追加された(表1、表2を参照)。また、2003年10月に中華人民共和國建設部・国家文物局によって第一回目中国歴史文化名村・名鎮の保護が決定され、それぞれ12個の中国歴史文化名村と10個の中国歴史文化名鎮が指定された(表3を参照)。その後、2005年から2023年まで302鎮が歴史文化名鎮として追加され、475村が歴史文化名村として追加された。

表1 中国「歴史文化名城リスト」

第一回歴史文化名城リスト(国務院1982年2月8日) ¹							
1. 北京	2. 承德	3. 大同	4. 南京	5. 泉州	6. 景德鎮	7. 曲阜	8. 洛陽
9. 開封	10. 蘇州	11. 揚州	12. 杭州	13. 紹興	14. 江陵	15. 長沙	16. 広州

¹ 国務院批转国家建委 等部門关于保护我国历史 文化名城的请示的通知 国发〔1982〕26号 (shaanxi.gov.cn)

17. 桂林	18. 成都	19. 遵義	20. 昆明	21. 大理	22. ラサ	23. 西安	24. 延安
第二回歴史文化名城リスト(国務院 1986年12月8日) ²							
1. 天津	2. 保定	3. 平遥	4. フフホト	5. 瀋陽	6. 上海	7. 鎮江	8. 常熟
9. 徐州	10. 淮安	11. 寧波	12. 歙県	13. 寿県	14. 亳州	15. 福州	16. 漳州
17. 南昌	18. 済南	19. 安陽	20. 南陽	21. 商丘	22. 武漢	23. 襄樊	24. 潮州
25. 重慶	26. 閩中	27. 宜賓	28. 自貢	29. 鎮遠	30. 麗江	31. シガツェ	32. 韓城
33. 榆林	34. 武威	35. 張掖	36. 敦煌	37. 銀川	38. カシユガル		
第三回歴史文化名城リスト(国務院 1994年1月4日) ³							
1. 正定	2. 邯鄲	3. 新絳	4. 代県	5. 祁県	6. ハルビン	7. 吉林	8. 集安
9. 衢州	10. 臨海	11. 長汀	12. 贛州	13. 青島	14. 聊城	15. 鄒城	16. 淄博
17. 鄭州	18. 浚県	19. 随州	20. 鐘祥	21. 岳陽	22. 肇慶	23. 佛山	24. 梅州
25. 雷州	26. 柳州	27. 瓊山	28. 樂山	29. 都江堰	30. 瀘州	31. 建水	32. 巍山
33. 江孜	34. 咸陽	35. 漢中	36. 天水	37. 同仁			

表2 追加歴史文化名城リスト

1. 山海関(河北省 2001. 8. 10) ⁴	2. 鳳凰県(湖南省 2001. 12. 17) ⁵	3. 濮陽(河南省 2004. 10. 1) ⁶	4. 安慶(安徽省 2005. 10. 1) ⁷	5. 泰安市(山東省 2007. 3. 9) ⁸
6. 海口市	7. 金華市	8. 績溪県	9. トルファン市	10. トクス県

² 国务院批转建设部、文化部关于请公布第二批国家历史文化名城名单的报告_改革大数据服务平台 (reformdata.org)

³ 国务院批转建设部、国家文物局关于审批第三批国家历史文化名城和加强保护管理请示的通知 广东省人民政府门户网站 (gd.gov.cn)

⁴ 国务院关于同意将秦皇岛市山海关区列为国家历史文化名城的批复_2001年第27号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

⁵ 国务院关于同意将湖南省凤凰县列为国家历史文化名城的批复_2002年第3号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn).

⁶ 国务院关于同意将河南省濮阳市列为国家历史文化名城的批复_2004年第34号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

⁷ 国务院关于同意将安徽省安庆市列为国家历史文化名城的批复_2005年第18号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

⁸ 国务院关于同意将山东省泰安市列为国家历史文化名城的批复_2007年第12号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

(2007. 3. 13) ⁹	(2007. 3. 18) ¹⁰	(2007. 3. 18) ¹¹	(2007. 4. 27) ¹²	(2007. 5. 6) ¹³
11. 无錫市 (2007. 9. 15) ¹⁴	12. 南通市 (2009. 1. 2) ¹⁵	13. 北海市 (2010. 11. 9) ¹⁶	14. 宜興市 (2011. 1. 24) ¹⁷	15. 嘉興市 (2011. 1. 27) ¹⁸
16. 太原市 (2011. 3. 17) ¹⁹	17. 中山市 (2011. 3. 17) ²⁰	18. 蓬萊市 (2011. 5. 1) ²¹	19. 会理県 (2011. 11. 8) ²²	20. クチャ県 (2012. 3. 15) ²³
21. イリ市 (2012. 6. 28) ²⁴	22. 泰州市 (2013. 2. 10) ²⁵	23. 会沢県	24. 烟台市	25. 青州市

⁹ 国务院关于同意将海南省海口市列为国家历史文化名城的批复_2007年第12号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

¹⁰ 国务院关于同意将浙江省金华市列为国家历史文化名城的批复_2007年第13号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

¹¹ 国务院关于同意将安徽省績溪县列为国家历史文化名城的批复_2007年第13号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

¹² 国务院关于同意将新疆维吾尔自治区吐鲁番市列为国家历史文化名城的批复_2007年第17号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

¹³ 国务院关于同意将新疆维吾尔自治区特克斯县列为国家历史文化名城的批复_2007年第17号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

¹⁴ 国务院关于同意将江蘇省无錫市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

¹⁵ 国务院关于同意将江蘇省南通市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

¹⁶ 国务院关于同意将广西壮族自治区北海市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

¹⁷ 国务院关于同意将江蘇省宜興市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

¹⁸ 国务院关于同意将浙江省嘉興市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

¹⁹ 国务院关于太原市城市总体规划的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

²⁰ 国务院关于同意将広東省中山市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

²¹ 国务院关于同意将山東省蓬萊市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

²² 国务院关于同意将四川省会理县列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

²³ 国务院关于同意将新疆维吾尔自治区库车县列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

²⁴ 国务院关于同意将新疆维吾尔自治区伊寧市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

²⁵ 国务院关于同意将江蘇省泰州市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网

		(2013. 5. 18) ²⁶	(2013. 7. 28) ²⁷	(2013. 11. 18) ²⁸
26. 湖 州 市 (2014. 7. 14) ²⁹	27. チチハル市 (2014. 8. 6) ³⁰	28. 常 州 市 (2015. 6. 1) ³¹	29. 瑞 金 市 (2015. 8. 19) ³²	30. 惠 州 市 (2015. 10. 3) ³³
31. 温 州 市 (2016. 5. 4) ³⁴	32. 高 郵 市 (2016. 11. 22) ³⁵	33. 永 州 市 (2016. 12. 16) ³⁶	34. 長 春 市 (2017. 10. 15) ³⁷	35. 龍 泉 市 (2017. 7. 16) ³⁸
36. 蔚 県 (2018. 5. 2) ³⁹	37. 遼 陽 (2020. 12. 7) ⁴⁰	38. 通 海 県 (2021. 3. 12) ⁴¹	39. 黟 県	40. 桐 城

(www.gov.cn)

²⁶ 国务院关于同意将雲南省会沢県列为国家历史文化名城的批复_2013年第15号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

²⁷ 国务院关于同意将山東省烟台市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

²⁸ 国务院关于同意将山東省青州市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

²⁹ 国务院关于同意将浙江省湖州市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

³⁰ 国务院关于同意将黑龍江省齐齐哈尔市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

³¹ 国务院关于同意将江蘇省常州市列为国家历史文化名城的批复_2015年第18号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

³² 国务院关于同意将江西省瑞金市列为国家历史文化名城的批复_2015年第25号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

³³ 国务院关于同意将広東省惠州市列为国家历史文化名城的批复_2015年第30号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

³⁴ 国务院关于同意将浙江省温州市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

³⁵ 国务院关于同意将江蘇省高郵市列为国家历史文化名城的批复_2016年第35号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

³⁶ 国务院关于同意将湖南省永州市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

³⁷ 国务院关于同意将吉林省長春市列为国家历史文化名城的批复_2017年第31号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

³⁸ 国务院关于同意将浙江省龍泉市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

³⁹ 国务院关于同意将河北省蔚県列为国家历史文化名城的批复_2018年第15号国务院公报_中国政府网 (www.gov.cn)

⁴⁰ 国务院关于同意将遼寧省遼陽市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

⁴¹ 国务院关于同意将雲南省通海県列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网

			(2021. 6. 15) ⁴²	(2021. 11. 07) ⁴³
41. 撫州市 (2022. 1. 11) ⁴⁴	42. 九江市 (2022. 3. 28) ⁴⁵	43. 劍川県 (2023. 3. 5) ⁴⁶		

表3 「中国歴史文化名村、名鎮リスト」⁴⁷

(中華人民共和国建設部国家文物局 2003. 10. 8)

第一回目中国歴史文化名村リスト	
1. 北京市門頭溝区齋堂鎮爨底下村	2. 山西省臨県磧口鎮西湾村
3. 浙江省武義県俞源郷俞源村	4. 浙江省武義県武陽鎮郭洞村
5. 安徽省黟県西通鎮西通村	6. 安徽省黟県宏村鎮宏村
7. 江西省樂安県生田鎮流坑村	8. 福建省南靖県書洋鎮田螺坑村
9. 湖南省岳陽県張谷英鎮張谷英村	10. 広東省佛山市三水區樂平鎮大旗頭村
11. 広東省深圳市龍崗区大鵬鎮鵬城村	12. 陝西省韓城市西莊鎮党家村
第一回目中国歴史文化名鎮リスト	
1. 山西省靈石県静昇鎮	2. 江蘇省昆山市周莊鎮
3. 江蘇省呉江市同里鎮	4. 江蘇省蘇州市呉中区甪直鎮
5. 浙江省嘉善県西塘鎮	6. 浙江省桐郷市烏鎮
7. 福建省上杭県古田鎮	8. 重慶市合川県泔灘鎮
9. 重慶市石柱県西沱鎮	10. 重慶市潼南県双江鎮

(www.gov.cn)

⁴² 国务院关于同意将安徽省黟县列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网 (www.gov.cn)

⁴³ 国务院关于同意将安徽省桐城市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网

(www.gov.cn)

⁴⁴ 国务院关于同意将江西省抚州市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网

(www.gov.cn)

⁴⁴ 国务院关于同意将江西省九江市列为国家历史文化名城的批复_文化_中国政府网 (www.gov.cn)

⁴⁴ 国务院关于同意将雲南省劍川県列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网

(www.gov.cn)

国务院关于同意将江西省抚州市列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网

(www.gov.cn)

⁴⁵ 国务院关于同意将江西省九江市列为国家历史文化名城的批复_文化_中国政府网 (www.gov.cn)

⁴⁶ 国务院关于同意将雲南省劍川県列为国家历史文化名城的批复_国务院文件_中国政府网

(www.gov.cn)

⁴⁷ 中国历史文化名鎮(村)名单 (www.gov.cn)

これらの指定には、中国の優秀な建築歴史文化遺産をよりよく保護、継承、発揚するため、中国の民族的伝統および地方の特色を発揚するため、との位置づけがなされている。経済改革、都市発展、政策決定が進展するにつれて、大都市や立地の有利な地方に限らず、地方都市や大きな都市の周辺地域までも著しく発展している。そのため、今回の中国歴史的名村と中国歴史的名鎮の指定は、歴史文化名城の保全事業に従来通り力を入れると同時に、より狭い範囲の、今まであまり余裕が無く、歴史文化遺産の保全事業がなされていなかった地域に力を入れるようにとの中国政府の努力の成果である。一方、中国全土における都市整備と経済改革の勢いの中で、今までに大きな変化がなく、昔のままの生活スタイルが残る地域でも、都市整備・経済発展とともに、歴史的文化遺産の保全事業が必要な状況になっているところもある。

歴史文化名城の指定、中国歴史文化名村と中国歴史文化名鎮の指定は、中国全土において歴史文化遺産の保全事業を徐々に、一つのネットワークに結び付けつつある。また、色々な保全政策の充実にともない、都市から地方までの住民の保全意識が喚起され、保全意識の高まりが見られるようになった。

本論では、第一回目歴史文化名城と指定された北京市、蘇州市及び第一回目中国歴史文化名鎮と指定された同理鎮を例に、その景観関連施策を概観し、その実態を把握しようと考えている。歴史文化名城指定都市である北京市は長い歴史を持つ首都として都市景観に関連する施策について先駆的に行なわれた都市であるので、北京市で行なわれている施策の実施状況の考察は、他の各都市の保全事業に大きな参考になる。また蘇州市は最初に指定された歴史文化名城の一つでもあり、近年中国の歴史的都市の保全事業では保存と開発の調和について最も成功した一つの都市であると考えられている。同理鎮はユネスコの世界遺産の登録リストに載っており、近年よく注目を浴びている歴史的古镇であり、2003年に初めて設けられた中国歴史文化名鎮の代表の一つでもある。よって、この三ヶ所の関連施策の実態を明らかにすることで、中国のほかの歴史的都市の景観保全に大きく役立つと言えるであろう。

二 北京市の歴史的景観保全と整備

文化大革命の時期に城壁を失った北京は、1980年代の改革開放政策によって経済発展が促進され、都市建設が著しく進んだ。全市にわたって、超高層のホテルやオフィス、集合住宅が林立するようになり、首都北京の元の歴史的景観は失われて、徐々に現代的国際都市に近づいていった。歴史的景観を失うことを防ぐために、1985年から中国全国に先駆けて旧城内における建築物の高度制限を実施した。旧城内中心部の故宮や西に隣接する中南海付近は6m-9m以下に制限し、その周辺地域は18m以下に、さらにその外縁部は35m-45m以下に制限した。

1990年代から、北京市のマスタープランの修正が始められた。その中で、北京は中国全国の

政治的文化的中心であるだけではなく、世界的に著名な古都であり現代的国際都市でもあるとされた。そして、今回のマスタープランの中に、名城保護計画が追加されたのである。名城は保護の対象により三段階に分けて保護を行う必要があるとされる。すなわち、以下の三段階である⁴⁸。

- 一、国、省、市各クラスの文物保護単位。
- 二、歴史文化保護区。北京においては什刹海、国子監などの25ヶ所が指定された。
- 三、都城の構造と空間及び巨視的にみた景観環境。

更に加えて、巨視的な保護については、以下の10項目が示された。

- ①伝統的都市の中軸線を保護し発展させる。
- ②明清時代の北京城の「凸」型城郭平面を保護する。
- ③「凸」型城郭構造と関連する河川や湖沼を保護する。
- ④基盤状の道路網と坊・巷・胡同の構造を保護する。
- ⑤都市の伝統的な色彩を保護する。
- ⑥建物の高さ制限を行う。故宮、皇城を中心として段階的に建物の高さ制限を設ける。順に9m以下、11m以下、18m以下とする。長安街、前三門大街及び二環状路の両側は18m以下であるが、個別には45mまで許可する。
- ⑦都市の重要な見通しを保護する。
- ⑧街道に面する町並み景観を保護する。
- ⑨都市広場を増設する。
- ⑩古樹・名木の保護と緑地の増設を行う。

以上の三段階、10項目の規定が厳格に守られれば、北京の古城景観や都市景観は統制がなされ、改善されるはずである。しかし、現実には、色々な予測のつかない事態が起こってしまった。⑥の建物の高さ制限については、1970年代、旧城内で高さ45mを超える建物は北京飯店の新館だけであったが、現在は林立するビルがはるかにこれを超えている。それはこの政策が実施された時の、制限の不十分さ、実行するときの不徹底などに原因があると考えられる。

⑧の歴史的町並みの保存に対しては、北京市内の25地区が歴史文化保護区に指定されたが、什刹海、国子監などの少数の地区の保護と更新計画を策定した以外、その他の地区ではまだ実行されていない。そして、一部の町並みでは、古代風建築や昔風町並みを建設して「伝統景観の

⁴⁸ 朱自煊(2001)「首都北京——景観対策のさきがけ」(大西国太郎+朱自煊、『中国の歴史都市 これからの景観保存と町並みの再生へ』、鹿島出版社、33-61頁)を参照。

保全」と称し、本物の歴史建築を壊して「倣古建築」、「倣古一条街」を建設するケースがでてきた。コンクリート造であるため、全体のスケールがまったく異なるものとなり、細部のデザインが大まかなものになる。例えば、北京の琉璃廠の伝統的な店舗街が取り壊され、「倣古一条街」が建てられた。このような手法と誤った認識により歴史的町並みが多く壊され、中国全国の歴史的町並みの保全事業にかなりの影響を与えた。これは現在なお歴史的町並み保全にとって重大な問題になっている。

一方、1980年代から、北京駅付近の菊子胡同では、呉良鏞・清華大学教授によって、伝統の良さを生かした「新四合院住宅」と呼ばれる三-四層の集合住宅が計画・設計され、実施された。四合院の伝統を守り、四合院の中庭を取り囲んで、住棟が四方を囲み、このブロックがいくつかつながって、中庭が通路によって連絡されるという平面計画であり、伝統的な雰囲気醸し出している。近年、中国の旧住宅区を整備する事例では、高い評価を得た一例である。また、北京の城内西北にある、歴史的町並み保全地区什刹海の保全・整備も成功した事例と言える。

三 蘇州市の歴史的景観保全と整備

蘇州は、2500年の歴史を持つ古都として歴史上重要な建造物や園林を数多く抱え、また、典型的な江南水郷の町としても著名である。町は、「橋・水・民家」が織り成す独特の水の都の景観を構成している。

蘇州は北京と同じく国務院が最初に公布した24の歴史文化名城の一つであり、長い歴史を重ねているが、「河と街が隣り合い、水と陸が並行する」という二重の碁盤目状の交通網は一貫して変わらなかった。同時に蘇州はまた、名高い「園林の都」、「絹の都」、「文化の城」でもあった。1997年2月、ユネスコの世界遺産委員会大会で、蘇州の代表的な古典園林、すなわち拙政園、留園、網師園、環繡山荘が「世界文化遺産」に登録された。

しかし、一方で、歴史の長い蘇州は、新しい都市整備によって、重大な被害も被った。建国後、しばらくの間、運河を埋め立てて道路を開通させたことと、経済都市の発展によって、交通渋滞が激化し、また旧城内の運河は水が腐敗して黒く臭気を放っていた。現在状況はだいぶ改善されているとは言え、都市インフラや住宅建設、環境整備などの面で、千年の古城は保護と発展の両方に関わる数多くの問題を現実に抱えているのである。これは都市の近代化や発展のためには不可欠の過程であるが、蘇州の都市建設の全体からみれば、都市整備計画が不十分で、とくに、歴史的遺産や伝統文化を重視しなかったため、美しい水郷都市の風景が徐々に破壊されてしまった。もともと、水郷都市としての独特な建物や風景、旧市街地の伝統的店舗街において、中層の現代的な建築が建てられ始め、さらに歴史性のない「倣古建築」に建て替えられなどとして、徐々に歴史的景観を残す地域が狭められてしまい、地域の特色ある雰囲気は破壊され

てしまった。

そのため、国務院は蘇州市の都市計画に対して、優れた古城の景観を保護するとともに、旧市街地のインフラの改善を加速し、新しい市街地の建設を積極的に行い、町の発展に取り込むことによって、恵まれたすばらしい環境と江南水郷という特色をもつ現代都市・蘇州を作り上げるという方針を打ち出した。蘇州市の経済・社会はここ十数年来、この方針に従って、急速な発展を遂げた。この「古城保護、新区建設」という都市全体の発展戦略は、古城区を主体とし、都市のスペースを拡大して、東を蘇州工業園区(シンガポールと共同で開発)、西を蘇州新区(国家高技術産業開発区)とする「一体両翼」⁴⁹の大きな構想に基づく計画である。都市に新しく発展の余地を設けただけでなく、古い市街地の人口、工業、交通と観光の諸方面における過密を緩和することによって、古城の歴史保護と有機的な再開発が実現できるという可能性が出てきた。

また、歴史的町並みの保全の面では、古城内の建物の高さ、様式、大きさ、色彩が厳しく規制された。古城内は、真の歴史遺産保護という原則と現状の保存状態の程度に基づいて、歴史保護地区に分割された。

さらに、歴史的建造物・園林そのものの保存や、その環境を保全するため、つぎのような三段階の保護区が設けられている⁵⁰。

一級絶対保護区では、指定された文化財そのものの現状保存や復元が行われ、その範囲内には、保護対象の元の構造、風格と姿を保ち、審査機関の許可が無ければ、勝手に建てたり、増築あるいは取り壊したりすることはできない。

二級建築制御保護区は、文化財周辺地域に指定され、この地域では新しい建築は禁止されて現状の景観が維持される。

三級環境協調保護区は、その外縁部に指定され、一般建築物の高さや階数の制限が行われて、その環境が調整されている。

原則として、三級保護区まで重ねて適用されるものは国指定の文化財で、合わせて六箇所がある。即ち、虎丘山寺、拙政園、留園、網師園、環繡山荘、北寺塔である。二級保護区まで適用されるものは省指定のもの、西園、寒山寺など合わせて25箇所がある。一級保護区のみ指定は市指定のもので、朴園、唐伯虎旧居遺跡など19箇所がある。

四 同里鎮の歴史的景観保全と整備

⁴⁹ 賀長青(2000)『近代都市における歴史的景観と観光——蘇州と京都を事例として』大阪府立大学総合科学研究科修士論文 翻訳資料 H-1 頁～H13 頁を参照。

⁵⁰ 注 49 に同じ。

同里は上海市の西方、蘇州市に近い美しく静かな古い町であり、水郷の景色及び歴史が集中し、町は太湖と古運河の畔にあり、あちらこちらで小船の行き交う姿を見ることができる。小さな町に10以上の河が流れ、各時代に作られた40以上の橋がかかる。建物は水際に建てられ、どの家も水に臨み、「小橋、流水、人家」で知られ、宋代以降千年にわたる歴史を有する、江蘇省では最も完全な形で保存されている水郷の古い町の一つである。同里は蘇州から18km離れ、全鎮の総面積は9362.54km²、人口はほぼ7万33,500人である(写真1)。

この大きくない町では、江南の都市風景の特色「小橋、流水、人家」がまとまって残されている。世界文化遺産に指定された「退思園」は同里にある。退思園は1887年に造られた邸宅で、庭園が特に有名である。この庭園があるため、退思園は世界文化遺産に登録されている蘇州庭園群のひとつに数えられている。晩清を代表する江南様式の庭園として世界的にも知られるようになった(写真2)。



写真1 江南名鎮：同里鎮の町並み（筆者撮）



写真2 世界文化遺産：退思園（筆者撮）

1981年、同里は国家レベル太湖風景区十三大風景区の一つに指定され、1982年には省レベル文化財保護鎮に指定され、2000年に「退思園」は世界文化遺産に指定された。今現在、同里は周荘⁵¹、甬直⁵²三つの江南名鎮と一緒にユネスコの世界遺産の登録リストに登録されている。そして、2003年10月に中華人民共和国建設部・国家文物局によって第一回目中国歴史文化名鎮に選ばれ

⁵¹ 周荘:900年の歴史を持ち、かつては江南の水運、商業の要衝として栄えた街である。「上有天堂、下有蘇杭(天上には極楽があり、地上には蘇州、杭州がある)」という有名な言葉をもじって「上有天堂、下有蘇杭、中間有一箇周荘(天上には極楽があり、地上には蘇州、杭州があり、中間には周荘がある)」と言われることもあるそうだ。見所は200年以上も前の街並みが往時の姿そのままに残っていることに尽きる。街中の細い通路をめぐり、豪商の屋敷を訪ね、石橋から水路を望めば、かつて大いに繁栄した中世中国の水郷都市へタイムスリップすることができる。

⁵² 甬直:江蘇省昆山市にあり、蘇州から25kmにある。江南の著名な古鎮の一つである。

た。

近年、上海周辺には、観光地として世界的にも知られている江南名鎮が数多く存在する。周荘、甬直、同里などがそれである。周荘を訪れると、狭い場所に家がぎっしり詰まっているような印象を受けるが、周荘よりやや広い同里は、比較的のんびりとした感じを受ける。同里の住民は今も昔のままの生活を営んでいるように見える。周荘ほど有名ではないが、このところ観光地として見直されるようになり、週末には上海から多くの観光客が訪れるようになった。上海からは郊外への観光バスが発達していて、週末の日帰り旅行としてもよく利用されている。海外からの観光客だけでなく中国国内の観光客や、上海周辺の観光客も近年多く訪れるようになった。

しかし、一方で、観光業に力を入れ、観光客が増えるにつれ、今まで静かに過ごして来た小鎮に大きな変化が現れた。住民生活のスタイル変化の兆し、町の雰囲気の変貌、環境の汚染などの問題が次から次へと露呈してきた。中国政府はそれを意識して、2003年10月に中国歴史文化名鎮という保存政策を決定したが、今後は観光業を発達させるだけではなく、いかに古鎮の歴史的町並みの雰囲気を保つか、具体的な保存政策が重要な課題となっている。

五 おわりに

ここまで中国独特の歴史文化名城の指定状況、および北京、蘇州、同里という三つの中国歴史文化名城と歴史文化名鎮の歴史的景観の整備実態を考察した。中国の著しい経済発展につれ、都市基盤の整備、住民の生活環境の向上などの効果が現れると同時に、多くの問題が発生したことも見逃せない。大規模な開発が多いだけに、歴史の足跡が次々と破壊され消えていく。これほどまでに大規模な都市開発が中国の全土のあちこちで、一気呵成に展開しているという状況は、これまでの世界の都市の歴史においても、珍しいことではなかろうか。北京や上海のような巨大都市だけではなく、中小都市までもが各地で同じ勢いで進んでいる。如何に今までの経験を生かして、これからの歴史的都市保全の事業を総合的に整備していくかが非常に重大な意味をもっていると考えられる。

参考文献

愛宕元 (1991) 『中国の城郭都市一般周から明清まで』, 中共新書。

茂木計一郎・稲次敏郎・片山和俊 (1991) 『中国民居の空間を探る』, 建設資料研究社。

呉良鏞 (1998) 「制御性詳細規画的幾点意見——関与北京地区旧城内」(『城市規劃』第2期)。

王景惠 (1998) 「歴史地段保護概念和作法」(『城市規劃』第3期)。

陸祖康 (1999) 「蘇州古城控劃編制的理論与方法研究」(『城市規劃』第23卷, 第23期)。

- 賀長青(2000)『近代都市における歴史的景観と観光—蘇州と京都を事例として—』大阪府立大学 総合科学研究科修士論文。
- 朱自煊(2001)「首都北京—景観対策のさきがけ」(大西国太郎+朱自煊,『中国の歴史都市—これからの景観保存と町並みの再生へ—』, 鹿島出版社)。
- 苅谷勇雅(2004)「日本の町並み調査報告書集成—解題—」(京都市都市計画局『日本の町並み調査報告書集成 第10巻—近畿地方の町並み<2>—』, 東洋書林)。